

商品販売等に関するお悩みはありますか？

「商品のPRの仕方やカタログ・チラシ等の販促物の相談をしたい！」
「県内・県外で取扱店舗を増やしたい！」 「商品の認知度を上げたい！」
「オンライン販売やWebサイト制作について相談したい！」
「OEMなどコラボ商品の受注を増やしたい！」 など

10/15
17時
締切

商品を「作る」以外のことに悩みを抱えているみなさま、ぜひお申込みください！

「工芸品を売る人財」（4者中1者）が下記の期間にみなさまの工房を訪問し、みなさまのお悩み・課題等をヒアリングします！

※どの人財が自社にとって良いのかわからない場合等、事前のご相談も可能です。

訪問日時 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止又は延期とする場合があります。

令和3年**10月26日（火）**～**10月29日（金）**

※上記日程のうち、いずれかの日にご訪問します（県担当者も同行）。

「工芸品を売る人財」紹介 ※当日は、下記4者中1者のほか、講師として
株式会社リアルジャパンプロジェクト様も同席予定です。

①合同会社 imajimu

文化芸術活動の振興を目的に2014年に設立。現在は「南部花形組子」の作り手さんと商品開発・販売に取り組んでいる (<https://recommendo.shop-pro.jp/>)。この事業を通して、作り手さん（南部・津軽地方問わず）の手仕事のすごさと商品を知ってもらおうお手伝いをしたい。



③株式会社小倉内装

昭和8年に表具店として創業。（現在は室内装飾部門もあり） (<http://ogura.jp.net/>)
近年は、地域貢献を念頭に青森の伝統工芸や地域資源を活用したインテリアやインテリア雑貨の施工・製造に取り組んでいる。この事業を通して、青森の伝統工芸・作り手さんのファンを増やしたい。



②クリック

CAD販売会社(CADインストラクター業務)を退職後に独立。現在は、パソコン・ソフト等のサポートや印刷物(ポスター、チラシ等)の制作も実施。コンピュータ・グラフィックスを使用して、実物に近い商品画像の制作が可能(過去に津軽塗の職人と取り組んだ経験あり)。この事業を通して、作り手さんのモノづくりに寄与したい。



④有限会社イシオカ工芸

昭和62年に津軽塗の専門問屋として創業 (<https://ishiokakougei.com/>)。
近年は、津軽塗以外の工芸品も取扱い、首都圏や北海道、東北地方へ発信している。この事業を通して、津軽塗をはじめ、様々な県内工芸品をワンパックで提案できる体制を作りたい。



★「工芸品を売る人財」とは？★

作り手のサポート機能（プロモーション、営業、販売後のフォロー、商品のブラッシュアップなど、「作る」以外のトータルサポートを行う）を有する卸売や営業代行等を行う人財。

青森県商工労働部地域産業課地域資源活用推進グループ

（担当：齊藤）

TEL：017-734-9375(直通) / MAIL: chiikisangyo@pref.aomori.lg.jp

裏面へ

10/15
17時
締切

訪問時に御準備いただきたいもの

商品、商品カタログ、チラシ、写真、販促物等 ※カタログ等は
5部ご準備ください。

申込方法

別添「参加申込書」を、**令和3年10月15日(金) 17時**までに
下記担当あてにメール又はFAXで提出してください。

講師紹介

株式会社リアルジャパンプロジェクト
代表取締役 河内 宏仁



株式会社リアルジャパンプロジェクト
PR/SALES 相原 渚



リアルジャパンプロジェクトとは？

日本のものづくり・地場産業のブランドづくりをサポートするプロジェクトである。“日本のものづくりをもっと身近に”という想いから、2009年にプロジェクトを発足。以来、日本各地のものづくりの現場に足を運び、商品開発やプロモーション、販路開拓などを中心に、事業戦略や販売戦略をクライアントとともに考えサポートしている。

今後のスケジュール (予定)

10/26
~29

★マッチング会 (工房訪問)

【参加者】売り手、**申込みのあった作り手**

【実施内容】

売り手 (4者中1者) が作り手のみなさまのお悩み・課題をヒアリング。

申込書を基に、
県側で日程調整。

11/26

★集合研修or個別指導

【講師】株式会社リアルジャパンプロジェクト

【参加者】売り手、**(売り手とマッチングした作り手)**

【実施内容】

作り手のみなさまが抱えているお悩み・課題に応じた目標を売り手と一緒に設定し、課題解決に向けて研修会等を実施。

例1：南部や津軽方面への販路を開拓したい

⇒上記講師のフォローのもと、売り手が県内のバイヤーに対して商品を提案。

例2：カタログやHPを作成したいがよくわからない

⇒チラシ制作を得意とする売り手が販促物作成をフォロー。

例3：新商品を開発したい

⇒売り手や上記講師の意見を参考に、時代に合う商品開発を実施。

研修会に参加が
できない場合は、
売り手のみの参
加も可能。

12/21

★フォローアップ研修会 (zoom等にて)

【参加者】売り手、**(売り手とマッチングした作り手)**

【実施内容】課題解決のために取り組んだ内容と成果等を振り返るための個別指導を実施。

2/25

青森県商工労働部地域産業課地域資源活用推進グループ

(担当：齊藤)

TEL : 017-734-9375(直通) / FAX : 017-734-8107

MAIL : chiikisangyo@pref.aomori.lg.jp